

○修士論文の評価基準

修士論文は、論文ごとに審査委員会を組織し、以下の各項目に関する審査結果を基に、総合的に判断してその成績を評価する。*

- 1) 当該研究領域において、修士としての十分な知識と能力が認められる。
- 2) 研究テーマの設定が妥当であり、また論文作成に当って問題意識が十分明確である。
- 3) 論述（本文、図、表、引用、文献表等）が適切であり、論理構成が首尾一貫している。
- 4) 採用された研究方法、調査・実験方法、論証方法が適切であり、また論証に当っての分析・考察が十分論理的かつ具体的である。
- 5) 当該研究領域の論理的・実証的見地に照らして、独自の価値が認められる。
- 6) 外国語文献読解や外国における調査が要求されるテーマについては、必要とされる当該外国語に関する十分な能力が認められる。

*審査委員会は、指導教員を主査とし、両専攻の教員を副査として構成される。必要に応じて大学院担当教員以外の者を副査に加えることがある。